



近畿修猷会第4回幹事会議事録

1. 会議名 : 2020年度第4回幹事会
2. 開催日時 : 2020年11月6日(金曜日) 18:30~20:30
3. 開催場所 : 弁護士法人 淀屋橋・山上合同 オービックビル(9階)
4. 開催方法 : 新型コロナウイルスの感染防止のためリアル参加と

ZOOM参加によるハイブリッド開催

5. 議案

議案1 総会議案について(最終案は次ページ以降ご参照)

芦原会長より第45回(2020年度)近畿修猷会総会議案書(案)

が提案され、事業報告、総会第1号から第2号議案についての説明を行っ

た。事業報告、総会第1号議案については承認されたが言い回しや表現等

若干変更することとなった。また、第2号議案、次年度事業運営方針及び

収支予算(案)については資料差し替えの必要が生じたため、メール上で

11月8日(日曜日)の17:00までの期限をもって継続審議すること以一

致した。

議案 2 総会の実施運営について

国武年度幹事長から説明があり若干の質疑応答を経て承認された。

議案 3 来賓との総会後の食事会実施について

コロナ禍の厳しい環境の元、かつ懇親会を開催できない中、修猷館同窓会の川崎会長及び修猷館館長のお二人がわざわざ博多からお越しになるため、総会后ささやかな慰労の席を設けたいと提案。近畿修猷会側の参加者は役員三役で、来阪お二人の費用も含め三役のポケットマネーで対応することも併せて提案し承認された。

議案 4 忘年会、新年会について

忘年会については、新型コロナウイルス感染が拡大傾向にあり中止とすることで承認された。

また、新年会については近畿修猷会の来年度活動のかなめとなるため、極力開催する方向性でその開催方法を来年度幹事卒猷会（平成2年卒業）が原案を作り、12月11日開催の常任幹事会にて継続審議することで一致した。



第45回（2020年度）近畿修猷会総会 議案書

- I. 会議名 : 2020年度 近畿修猷会総会
- II. 開催日時 : 2020年11月14日（土）14:00～
- III. 開催場所 : 梅田スカイビル
- IV. 議案

報告事項 事業報告

第1号議案 決算書類承認の件/監査報告

第2号議案 次年度事業運営方針及び収支予算（案）について

事業報告

本年度は新型コロナウイルスによるパンデミックにより、事業計画は全てにおいて変更を余儀なくされました。春イベント、秋イベントとも会員の健康を第一とすべきであると判断して中止といたしました。春イベントについては4月に政府の緊急事態宣言が発出され、秋イベントについては新型コロナの第二波の感染拡大により大阪府が黄信号を宣言するに至り断腸の思いで中止を決定致しました。

秋のゴルフコンペは実施致しましたものの、総会の開催について幹事会等で議論を重ねました。中止という決断は簡単ではありましたが、これからどれくらい続くか判らないウイズコロナの時代の総会はどうにあるべきかを模索しました。

結論として、リアル会場とオンラインを結んだハイブリッド型総会とすることに致しました。しかし、懇親会につきましては大阪府が5名以上の飲食を伴う会合を控えるようにとの要請を出している状況を鑑み中止とし、講演会と総会の実施と致しました。

イベント等の開催

実施日	イベント	内容	場所	参加者数
5/16(土)	春イベント	新しくなった大阪城公園を船で！歩いて！巡る一日	大阪城公園	中止
9/12(土)	秋イベント	憧れの名画と記念撮影 絵画の世界ツアー	大塚美術館	中止
9/27(日)		第22回近畿修猷会ゴルフコンペ	よみうりウエスト	14名
11/14(土)	総会	第45回近畿修猷会総会（ハイブリッド型）	梅田スカイビル	

幹事会等の会議についても新型コロナの感染拡大を受けて、7月の常任幹事会を zoom によるオンラインで開催し、第2回以降の幹事会は全て会議室とオンラインの併用で開催致しました。結果として、総会のハイブリッド型開催の予行演習になりました。

なお、議事録は HP に UP しておりますのでご参照下さい。

会議等の開催

会議体	開催日
幹事会	第1回 1/18(土)、第2回 8/29(土)、第3回 9/26(土)、第4回 11/6(金)
常任幹事会	第1回 7/12(日)

本年度は以下の三つの方針を掲げて本会の運営改革に取り組みましたが、その多くは新型コロナウイルスの感染拡大で大幅な変更を余儀なくされました。

■方針1：収支改善の継続と会員への還元による活性化

春・秋イベントに各15万円（前年度は10万円）の助成金を拠出し参加者の負担を軽減して参加者を増加させる施策は前述の通り中止したため実現できませんでした。総会への助成金25万円については会場費用、zoom 利用料等にあて参加費無料とすることができました。

クラブ活動の活性化を目的として各クラブに年間15,000円（前年は10,000円）を拠出しましたが、各クラブにおいても新型コロナで活動が制限されました。

一方、収支改善の継続についてはイベントが中止となったためにイベント時に会費や寄付金を納入していただいていた会員の数が本年度は半減したためこの2年間続いていた大幅な収入増加が一転減収となってしまいました。

会費納入の状況は下表に示す通りシクミネットの手数料を無料化したためゆうちょ銀行振込からシクミネットを利用した納入にシフトし、振込での納入会員数の合計ではコロナに関係なく5名の増加となりました。しかし、イベント時納入が唯一実施された新年会での納入のみとなり半減しました。その結果28名減となり、寄付金を含めた収入減は176千円となりました。

	ゆうちょ銀行振込	シクミネット	イベント時納入	合計
2020年度	148名	61名	34名	243名
2019年度	172名	32名	67名	271名
増減	-24名	+29名	-33名	-28名

支出についてはイベントが中止となり助成金の支出が減少したものの、イレギュラーな支出（決算報告で説明）により前年よりも僅かな増加となり、繰越金は前年差約250千円の減少となりました。

■方針2：コミュニケーションの活発化

シクミネットを使った会員・役員間のコミュニケーションの活発化については、図らずも新型コロナウイルスの感染拡大を受け対面でのコミュニケーション不足をシクミネットシステムとネット、オンラインを活用することにより寧ろ活性化したと考えています。シクミネットの一斉メールなどによりイベントの中止、総会の開催方法や会場の変更などについて迅速な対応を可能にしました。

■方針3：役員の基本コンセプトを「世話人」とする

役員はボランティアで会の運営を行い会員の皆様に奉仕をする「世話人」とあるとのコンセプトで運営しました。フラットでネットワーク的な組織運営はシクミネットでの情報共有により運営が地について参りました。

第1号議案 決算書類承認の件/監査報告

1. 2019年度収支決算

昨年の総会でご承認頂いた10月15日までの決算にそれ以降12月末日までの数値を合算した決算内容は予算対比では収入が約+55千円、支出が約-84千円、今年度への繰越金が約-29千円とほぼ予算通りの結果でした。

前年度との対比では2018年度の約420千円に続き2019年度も約279千円という大幅な余剰金を計上しました。収入の部では会費納入者が341名と12名増加し、寄付金も約443千円と前年を6%上回り収入合計で約260千円の増収となりました。支出はイベントとクラブ活動への助

成金制度を導入したため約401千円増加したものの、収入増により吸収することができました。

2019年度収支決算書

項目	前年度実績		予算		2019年度実績		前年対比		予算対比		摘要
	収入	支出	収入金額	支出金額	収入金額	支出金額	前年差	前年比	予算差	予算比	
繰越金	4,504,782	-	4,985,182	-	4,985,182	-	420,400	109.2%	-	-	
年会費	986,000	-	4,005,720	-	4,023,000	-	37,000	103.8%	17,280	101.7%	341名(昨年は329名)
寄付金	410,000	-	418,200	-	443,500	-	33,500	108.2%	25,300	106.0%	120名(昨年は96名)
寄附金(本部総会出席費)	40,200	-	40,200	-	40,200	-	0	100.0%	-	100.0%	本部より総会1名出席のための交通費支給
寄付金(総会寄付金)	125,000	-	130,000	-	170,000	-	45,000	136.0%	40,000	130.8%	総会来賓からのお祝い金
総会会費	4,122,000	-	4,300,000	-	4,234,000	-	112,000	110.0%	-66,000	94.0%	総会参加費収入
雑収入(含利息)	26	-	30	-	21	-	-5	80.8%	-9	70.0%	利息
総会費用	-	1,224,945	-	1,300,000	-	1,381,626	-56,681	112.8%	81,626	106.3%	総会関係印刷費、コピー代、宅急便等含む
広告掲載料	-	10,000	-	10,000	-	10,000	0	100.0%	-	100.0%	本部同窓会企画協賛広告
印刷代	-	527,904	-	500,000	-	523,864	4,040	99.2%	23,864	104.8%	春秋新聞、同封物、封筒、払込用紙印刷
運賃郵便料	-	168,408	-	170,000	-	135,505	32,903	80.3%	-34,495	79.7%	DM発送費
システム費用	-	59,400	-	-	-	0	0	-	-	-	ホームページサーバー費用
通信費	-	75,323	-	134,050	-	134,749	-59,426	178.9%	699	100.5%	シクミネット使用料、FAX利用料等
送金料	-	4,030	-	-	-	8,186	-4,156	202.1%	8,186	-	振込手数料
他総会出席費	-	77,240	-	77,240	-	50,000	27,240	64.7%	-27,240	64.7%	他同窓会へのご祝儀(10000円×5)
当番幹事会議費	-	100,000	-	100,000	-	100,000	0	100.0%	-	100.0%	活動費
春イベント助成金	-	-	-	100,000	-	100,000	-	-	-	-	本年度会員還元施策
秋イベント助成金	-	-	-	100,000	-	100,000	-	-	-	-	本年度会員還元施策
クラブ活動助成金	-	-	-	90,000	-	90,000	-	-	-	-	本年度会員還元施策
事業費収支差額	-	2,400	-	-	-	3,500	-	5,900	-	-	新年会収支差額
事業費収支差額	-	14,680	-	-	-	6,527	-	8,153	-	-	春イベント収支差額
事業費収支差額	6,426	-	-	-	-	35,036	-	28,610	-	-	秋イベント収支差額
雑費	-	4,902	-	4,902	-	29,712	-24,810	606.1%	24,810	606.1%	新聞発送関連費等
小計	2,689,652	2,269,252	2,894,150	2,586,192	2,949,277	2,670,169					
年度収支差額		420,400		307,958		279,108	-141,292	66.4%	-28,850		
繰越金		4,985,182		5,293,140		5,264,290	279,108	105.6%	-28,850	99.5%	
合計	7,248,008	7,254,434	7,879,332	7,879,332	7,934,430	7,934,430	680,025	109.4%	7,879,334	100.7%	

2. 2020年度収支決算(10月15日現在)

本年度の10月15日までの収支決算は新型コロナウイルスの感染拡大により収入・支出共に大きな影響を受けました。

収支決算は下表のとおりです。支出総額は前年差約47千円と大きな差はありませんが、収入は約255千円の大幅な減少となり、繰越金額は前年実績を23千円と僅かながら下回りました。

2020年度10月15日現在の収支決算書

項目	2019年度		2020年度		前年差	前年比	摘要
	収入	支出	収入金額	支出金額			
繰越金	4,985,182	-	5,264,290	-	279,108	105.6%	
年会費	813,000	-	729,000	-	-84,000	89.7%	243人(前年271名) (内:ゆうちよ148人、シクミネット61人、新年会・イベント時84人)
寄付金	335,500	-	243,500	-	-92,000	72.6%	66名(前年は100名)
本部総会出席費	40,200	-	-	-	-40,200	0.0%	本部より総会1名出席のための交通費支給→本年は本部総会中止
雑収入(含利息)	21	-	19	-	-2	90.5%	利息
広告掲載料	-	10,000	-	100,000	90,000	1000.0%	本部同窓会名簿広告掲載(5年に一度発行)
印刷代	-	523,864	-	522,903	-961	99.8%	春秋新聞、同封物、封筒、払込用紙印刷
運賃郵便料	-	71,001	-	140,621	69,620	198.1%	新聞発送DM費用(前年度は秋新聞は未払い)
通信費	-	97,945	-	131,267	33,322	134.0%	シクミネット使用料、FAX利用料等・シクミネット事務手数料
送金料	-	6,866	-	7,425	559	108.1%	振込手数料
他総会出席費	-	50,000	-	-	-50,000	0.0%	本部・東京他5総会への祝儀(今年は全て中止)
当番幹事会議費	-	100,000	-	100,000	0	100.0%	例年と同額
春イベント助成金	-	100,000	-	-	-100,000	0.0%	中止
秋イベント助成金	-	100,000	-	-	-100,000	0.0%	中止
クラブ活動助成金	-	90,000	-	135,000	45,000	150.0%	本年度から1クラブ15千円(前年度は10千円)
事業費収支差額	3,500	-	-	50,870	54,370	0.0%	新年会不足金
事業費収支差額	-	6,527	-	-	-6,527	0.0%	前年度は春イベント不足金
事業費収支差額	35,036	-	-	-	-35,036	0.0%	前年度は秋イベント剰余金
雑費	-	-	-	15,109	15,109	0.0%	新聞発行関係事務用品等
小計	4,227,277	4,156,203	972,519	4,203,195	取支差額=	-230,676	
繰越金		5,036,256		5,033,614	-2,642	99.6%	
合計	6,212,430	6,212,430	6,236,809	6,236,809	24,379	100.4%	

私たちが会計監事は、2019年10月16日から2019年12月31日迄および2020年1月1日より2020年10月15日迄の会計処理について監査した結果、適正かつ妥当であることを認めます。

2020年11月3日 会計監事 花嶋 暁子(昭和55年卒)
会計監事 石田 岳彦(平成3年卒)

収入の部では事業報告で述べたとおり、イベント時での会費・寄付金納入者の半減により176千円の減収となりました。更には本部からの本部総会出席交通費助成金約40千円が総会中止のため収入減となり、昨年の秋イベントでの剰余金約39千円があった為、総収入は前年

比で約 255 千円のマイナスとなりました。

支出の部ではイベント中止により助成金 200 千円の支出減となりましたが、クラブ活動への助成金は各クラブ前年度の 10 千円から 15 千円に厚くしたため 45 千円の増加となりました。加えて、5 年に一度の本部同窓会名簿発行に伴い広告掲載費 100 千円を拠出し、秋の新聞発送費が昨年度は 10 月 16 日以降に期ずれがあり約 7 万円が 10 月 16 日以降の支払いになった事などにより総支出は前年比 47 千円の増加となりました。

その結果、収支差額は 230 千円のマイナスとなり、繰越金は前年度より約 23 千円少ない 5,033 千円となりました。

第 2 号議案 次年度事業運営方針及び収支予算（案）について

次年度はウィズコロナ時代に即した会員の健康と親睦を両立した運営手法の確立と新しい時代に対応する組織の構築を活動方針として運営を行います。

1. 事業運営方針と施策

■方針 1：ウィズコロナ時代に即した会員の健康と親睦を両立した運営手法の確立

本総会をリアルとオンラインのハイブリッド型で開催しましたが、この経験を踏まえて次年度は春・秋イベントについて安全に開催できるための企画や運営方法を開発していきます。

総会についても、新型コロナの感染状況により収束した場合と感染が続いた場合のケースを想定していく通りかの準備をします。

イベント、総会、クラブ活動の各助成金についてはこれを維持し、会員への還元を行うことにより施策の充実を図ります。その結果として繰越金を取り崩すこともやむなしとします。

■方針 2：新しい時代に対応する組織の構築

役員は会の運営のお世話をする「世話人」というコンセプトでこの 1 年運営して参りました。このフラットでネットワーク型の組織が新型コロナの感染拡大において迅速に対応できた要因の一つだと確信しています。

次年度はこの組織コンセプトを明確にするために議論を重ねて正式な組織として会則の変更等を含めて総会に諮りたいと考えます。

2. 2021 年度予算（案）

今年度末の実績は総会の参加者が昨年から大幅に減少するため、総会での会費・寄付金納入者の減少が予想されます。また、総会の懇親会を中止として参加費を無料としたことにより総会費用約 400 千円（内 250 千円は助成金）の支出が持ち出しとなり、収支バランスはトータルで -511 千円が推定されます。

過去 3 年間収支を大幅に改善し 2017 年度期首の繰越金 4,322 千円が 2020 年度期首には 5,264 千円と 942 千円もの大幅増加となりました。昨年度は繰越金処分を長期にわたって削減するべ

きではないかと議論を重ねましたが、結果として本年度末の剰余金は約 4,750 千円前後と推測され、3年間の増加分の半分強を本年度の赤字の補填として処分することになります。

コロナ禍がどのような推移を辿るか予想がつきにくい現状において次年度の予算を立案するのはシナリオがあまりに多すぎて至難の技と言えます。その多くのシナリオの中から以下の方針により立案することとしました。

予算方針

(1) 会費納入率の回復

イベントの実施や参加者数に関わらずシクミネット等での納入を促進し会費納入率の回復を図ることを前提とする。

(2) 助成金等による会員還元継続

会費納入率が回復しないシナリオとなれば支出の削減＝助成金等の削減という選択肢もあるが、次年度も今年度と同様の助成金を拠出し会員への還元を行う。

(3) 繰越金の考え方

繰越金を維持することは難しく減少を最小限に留め、最悪シナリオとなっても 2017 年度期首の繰越金額 4,322 千円は維持する。

■ 収入の部

年会費収入及び寄付金収入はこれまでの様に右肩上がりで伸ばすことは厳しく、何とか 2019 年度並を確保することとします。

■ 支出の部

厳しい環境ではありますが、会員の活動の活性化を目指すイベント、総会、クラブ活動助成金、振込手数料等無料化等の会員還元施策に 70 万円余を拠出する昨年の方針を維持します。コロナ禍においてこそ助成金による会員還元が必要との考え方です。

■ 繰越剰余金

収支差額により繰越金について約 4,521 千円（前年対比-231 千円）となります。

2021年度予算(案)									
項目	2019年度実績		2020年度推定		2021年度予算		前年差	前年比	摘要
	収入	支出	収入金額	支出金額	収入金額	支出金額			
繰越金	4,985,182		5,264,290		4,752,313		-511,977	90.3%	
年会費	1,023,000	0	834,000		1,020,000		186,000	122.3%	会費納入者340名
寄付金	443,500	0	303,500		400,000		96,500	131.8%	寄付金納入額も2019年度並み
寄附金(本部総会出席費)	40,200	0	0		40,200		40,200		福岡本部より
寄附金(総会祝儀)	170,000	0	30,019		100,000		69,981	333.1%	前年同額
総会会費	1,234,000	0	0		800,000		800,000		収入支出仮置き
雑収入(含利息)	21	0	19		19		0	100.0%	利息
総会費用	0	1,381,626	0	407,000	1,150,000	-743,000	282.6%		総会助成金250千円を含む
広告掲載料	0	10,000	0	100,000	10,000	90,000	10.0%		前年同額
印刷代	0	523,864	0	522,903	520,000	2,903	99.4%		前年同額程度
運賃郵便料	0	135,505	0	140,021	143,000	-2,379	101.7%		前年同額程度
通信費	0	134,749	0	169,267	160,000	9,267	94.5%		シクミネット、HP、FAX通信費等
送金料	0	8,186	0	8,745	8,500	245	97.2%		送金手数料
他総会出席費	0	50,000	0	0	20,000	-20,000			本部、支部2総会×1万円
当番幹事会議費	0	100,000	0	100,000	100,000	0	100.0%		前年同額
春イベント助成金	0	100,000	0	0	150,000	-150,000			
秋イベント助成金	0	100,000	0	0	150,000	-150,000			
クラブ活動助成金	0	90,000	0	135,000	135,000	0	100.0%		クラブ活動助成金(9クラブ×15千円)
事業費収支差額1	3,500	0	0	50,870	0	0			
事業費収支差額2	0	6,527	0	0	0	0			
事業費収支差額3	35,050	0	0	0	0	0			
雑費	0	29,712	0	45,109	45,000	109	99.8%		
年度収入・支出合計	2,949,277	2,670,169	1,167,538	1,679,515	2,360,219	2,591,500	収支差額=	-231,281	
年度収支差額		279,108		-511,977		-231,281	280,696	45.2%	
繰越金		5,264,290		4,752,313		4,521,032	-231,281	95.1%	
合計	7,934,459	7,934,459	6,431,828	6,431,828	7,112,532	7,112,532	680,704	110.6%	

